シラバス　自動車整備　科　　二級自動車整備士　コース

講　義　名	＜実習＞　一年次　基本①実習　エンジン基礎・測定				
概要と目的	職場レベルの技術を身に付ける 測定機器の使用方法を体得する				
担　当　者	霜田　大、宮澤　圭輔	単位数	27 時限	区分	実習
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がエンジン基礎・測定について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時　期	4月中旬～6月上旬		
使用教材	農機具用エンジン（GX31） 測定機器				
到達目標	エンジン構造、作動の理解と測定技術の体得				
成績評価	実技試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25％、B評価が45％、C評価が30％を基準とする。				
授業計画					
1 時限	導入と実習目的 エンジン始動				
2 時限	分解時注意事項 分解（エンジンオイル抜取、エアクリーナ、キャブレータ、リコイルスタータ ASSY）				
3 時限	分解（フューエルタンク、トップカバー、マフラ、ファンカバー、イグニションコイル、				
4 時限	分解（フライホイール、カムシャフトカバー、シリンダヘッドカバー） スケッチ（バルブ開閉機構）				
5 時限	分解（ロアクランクケース、クランクシャフト、ピストン） 4 サイクルガソリンエンジンの作動理解（別紙プリント）				
6 時限	分解（バルブ、カム） 点検、測定（必要性について）　組付け準備（シールパッキン剥がし、清掃）				
7 時限	組付時注意事項 組付（バルブ、カム、クランクシャフト、ピストン、ロアクランクケース）				
8 時限	組付（カムシャフトカバー）　バルブクリアランス調整 組付（フライホイール）　排気上死点、圧縮上死点の確認				
伝達事項等					

校長	所　属		授業資格	実務経験
	学科長	担当者	学科実習 あり	あり

シラバス　自動車整備　科　　二級自動車整備士　コース

講　義　名	＜実習＞　一年次　基本①実習　エンジン基礎・測定				
概要と目的					
担　当　者		単位数		区分	
講義対象		時　期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9 時限	組付（シリンダヘッドカバー、イグニションコイル、ファンカバー、マフラ、トップカバー、フューエルタンク、リコイルスタータ ASSY）				
10 時限	組付（キャブレータ、エアクリーナ、エンジンオイル注入） エンジン始動確認				
11 時限	片付け、清掃、まとめ				
12 時限	測定作業 導入　測定作業の必要性　測定誤差について				
13 時限	ノギス各部名称，取り扱い及び読み方　実習テキスト使用				
14 時限	ノギスで測定物を測定し，測定値を実習テキストに記入				
15 時限	ノギスで測定物を測定し，測定値を実習テキストに記入				
16 時限	マイクロメータ各部名称，取り扱い及び読み方　実習テキスト使用				
伝達事項等					

校長	所　属	
	学科長	担当者

シラバス　自動車整備　科　　二級自動車整備士　コース

講　義　名	＜実習＞　一年次　基本①実習　エンジン基礎・測定				
概要と目的					
担　当　者		単位数		区分	
講義対象		時　期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
17 時限	マイクロメータで測定物を測定し，測定値を実習テキストに記				
18 時限	マイクロメータで測定物を測定し，測定値を実習テキストに記入				
19 時限	トルクレンチの用途，種類・構造・機能及び取り扱い ねじの呼び・構造について				
20 時限	トルクレンチを使用せず，締め付け感覚を個人レベルで習得				
21 時限	トルクレンチを使用せず，締め付け感覚を個人レベルで習得				
22 時限	ダイヤルゲージ，キャリパゲージの用途，種類・構造・機能及び取り扱い				
23 時限	シックネスゲージ，スパークプラグゲージの用途，種類・構造・機能及び取り扱い				
24 時限	片付け、清掃、まとめ				
伝達事項等					

校長	所　属	
	学科長	担当者

シラバス　自動車整備　科　　二級自動車整備士　コース

講　義　名	＜実習＞　一年次　基本①実習　エンジン基礎・測定				
概要と目的	職場レベルの技術を身に付ける 測定機器の使用方法を体得する				
担　当　者		単位数		区分	
講義対象		時　期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
25 時限	実技試験				
26 時限	実技試験				
27 時限	実技試験				
伝達事項等					

校長	所　属	
	学科長	担当者